



昨年6月に行われた花苗植えの様子

青葉地区では、青葉中央公園を生かした青葉まちづくり会議の取り組みが一年を通して盛んです。地域のみんなが環境の問題を考えるきっかけ作りになればと始まった「青葉中央公園ジャック」では、公園内の花壇に地域住民で花を植え、管理する花いっぱい運動が展開されました。

昨年、四月の花壇作りの講座に始まり、花苗植え、水やりなどの手入れを小学校や児童会館、老人クラブなど二十四グループが行い、十月までたくさんの方が美しく咲きそろいました。六月には、初夏の観察会に幅広い年代から約百十人が参加して、身近にある豊かな自然に接し愛着を深めました。



青葉まちづくりセンター

青葉町3丁目2126 ☎(892) 8177

所長 渡邊 寛也

さまさまな取り組みが進む青葉のまちに昨年10月、着任しました。地域の皆さんのお手伝いをしながら一緒にまちづくりを進めます。

花の季節が終わってからは、落ち葉を利用した堆肥作りに挑戦しています。専用の囲いに落ち葉を二十センチ程度敷き詰め、その上に米ぬかなどの発酵促進剤を振り掛け、また、落ち葉を重ね、層状にして発酵させます。これは、通常、ごみとして処分される落ち葉を利用した資源循環、ごみ減量の試みで、できあがった堆肥は、公園ジャックなど地域の活動に利用する予定です。

一月には冬の戸外で地域のみなが集い、体を動かし、世代間交流と健康づくりを進めようと雪中運動会が行われました。子どもからお年寄りまでが楽しめるように工夫されたプログラムに三百人以上の親子連れなどが参加、最後は毎年好評の豚汁サービスに心も体も温まり笑顔が広がりました。

季節は春。地域の力を合わせた取り組みに皆さんも参加してみませんか。

## 区役所掲示板

### AEDを知っていますか？

心筋梗塞などが原因で突然倒れたとき、救命のポイントとなるのはAED（自動体外式除細動器）による心臓への電気ショックと人工呼吸や心臓マッサージなどを含めた速やかな応急手当です。

AEDは、電源を入れると全ての操作方法を音声で手引きしますので、音声案内に従い、安全・確実に電気ショックが行えます。

このステッカーが目印です



※AEDを設置し、応急手当のできる従業員等が勤務している施設（事業所）に、このステッカーの表示があります。

#### AEDを用いた応急手当

～意識も呼吸もない傷病者を発見したとき～

- ①助けを呼ぶ→119番通報・AEDの手配
- ②気道の確保→人工呼吸（2回）
- ③心臓マッサージ30回と人工呼吸2回を5回→呼吸としっかりした手足の動きを確認

大切な「命」を助けるために勇気をもって協力を！

みんな離れて！



※4月1日より、救命の効果を高めるため、応急手当の方法が一部変更となりました。

～AED到着～

- ①電源を入れる→電極パッドを張る
- ②心電図の解析（音声メッセージに従い、このとき傷病者に触れてはいけません）
- ③音声メッセージに従い除細動（電気ショック）ボタンを押す
- ④心臓マッサージ30回と人工呼吸2回を5回、または音声メッセージに従う
- ⑤到着した救急隊に状況を伝える

#### 区内のAED設置施設（市所管）

- ・市立中学校（8校）
  - ・地下鉄新さっぽろ駅
  - ・地下鉄ひばりが丘駅
  - ・地下鉄大谷地駅
  - ・厚別区体育館
  - ・厚別温水プール
  - ・札幌市青少年科学館
  - ・厚別公園競技場
  - ・厚別消防署
  - ・厚別消防署厚別西出張所
  - ・厚別消防署もみじ台出張所
- ※ほかにもAEDを設置している民間施設等があります。

☐救命講習会を定期的に行っています。詳しくは、厚別消防署 ☎892-2100にお問い合わせください。